

安全教育



令和2年
2月25日発行
発行責任者
横田 竜一

一般財団法人 横浜市安全教育振興会
〒231-0014 横浜市中区常盤町3-25 サンビル7階 電話 045-662-7835 FAX 045-662-9831
メールアドレス: info@anshinkai.or.jp ホームページ: <http://anshinkai.or.jp/>

新しい時代における安全教育の推進

教育長 鯉 淵 信 也



日頃から、横浜の子どもたち一人ひとりの健やかな成長を願い、安全教育の普及振興に向け、子どもたちのために様々な取り組みをされている一般財団法人横浜市安全教育振興会の皆様に対し、心より感謝申し上げます。

近年、グローバル化や情報化が急速に進展し、社会が大きく変化し続ける中で、子どもを取り巻く状況が変化し、それに伴い、安全教育の課題も多岐に渡っています。今後発生が懸念されている首都直下地震や南海トラフ巨大地震、全国各地で発生している豪雨等の自然災害の状況、交通安全や犯罪等の社会的な情勢の変化など、新たな課題も次々と顕在化し、今後の深刻化も懸念されます。

加えて、子どもが、学校における活動中の事故や登下校中における事件・事故に巻き込まれる事案やスマートフォンやSNSの利用を巡るトラブルなど従来想定されなかった危機事象も増えています。

こうした現状も踏まえ、学校における安全管理として、安全で安心な学校環境の整備や、子どもたちの安全を確保するための組織的な取組を一層充実させること、子どもたちに、いかなる状況下でも自らの命を守り抜くとともに、安全で安心な生活社会を実現するために、主体的に行動する態度を育成することが不可欠であると考えます。

横浜市教育委員会では、2018年2月に「横浜教育ビジョン2030」を策定し、「自ら学び 社会とつながり ともに未来を創る人」の育成を目指し、子どもに身に付けてほしい力を5つの視点「知」「徳」「体」「公」「開」で表し、相互に関連付けながらバランスよく育む教育を推進しています。さらに、「横浜教育ビジョン2030」の具現化に向けたアクションプランとして、「第3期横浜市教育振興基本計画」を2018年12月に策定いたしました。教育行政全般にかかる幅広い計画ですが、全26の施策の一つに、「健康な体づくり」を掲げています。規則正しい生活習慣の確立、病気の予防や喫煙・薬物乱用の防止に関する教育、日常生活における事故やケガの防止に関する教育等において、関係機関や家庭と連携した取組を進めていきます。安全教育においても、より一層、家庭・地域と連携を強化し、推進されることが期待されています。既に各学校においては、地域と協働し、様々な取組を実施し成果を挙げています。

和泉小学校(泉区)では、「災害から守ろう 自分のこと・まちのことから〜地域とともに高める防災意識〜」をテーマとし、これまでの地域防災訓練における課題を洗い出し、地域、保護者、子どもが主体的に参加する有意義な地域防災訓練を実施しています。防災セットの確認、AED講習、区画整理訓練

や炊き出し訓練など実際に子どもたちや地域の方が体験できる訓練を実施しました。多彩な訓練や講習を組み合わせることで、参加者の防災意識の向上や実際の避難の流れの確認ができたことは大きな成果です。

阿久和小学校(瀬谷区)では、「自助・共助の意識を図る防災教育」をテーマとし、地域防災訓練への住民の方の不安を受け止め、地域と学校が協働し、消防署の協力も得て、総合防災訓練を実施しています。学校が「地域を支えるかけはし」となり、自助・共助の実践を積み重ねています。総合防災訓練では、防災・安全に関する授業を公開し、「自分たちのできることは何だろう」「本当に必要なものは何か」など授業を通して、子どもたちが自らの生活を振り返り、自分たちができることを考えていきます。また、防災に関しての体験パビリオンや地域のニーズに合わせた国際ブースを設置し、言葉や文化の違いにも配慮して総合防災訓練を実施しています。このような地域の実態に合わせた総合防災訓練を積み重ねた結果、地域防災訓練への参加者の増加、地域、関係機関との連携が強化され、子ども、保護者、地域の防災意識の向上が見られました。今後は、住民一人ひとりの参画意識をさらに向上させるために学校ができることを地域と連携し考えていきます。

この2校の事例以外にも、防災学習で学んだことを地域へ発信する取組や防災の授業で地域の方から直接お話を聞く機会を設けることで、地域・子ども・学校がつながり、顔が見える関係が構築できたなど大きな成果がありました。

地域と連携した学校の様々な取組には、互いの距離を縮め、共助の精神によって、人々が支え合う活力ある社会を作り出します。子どもたちの豊かな成長を支えるためには、子どもたちが地域で活躍できる場を作ることや、地域とのより良い関係を構築することが大切です。今後も保護者をはじめ地域の皆様や区役所、消防、警察等の関係機関と連携し、切れ目のない支援を行えるよう、皆様と力を合わせ、横浜の未来を拓く子どもたちを育ててまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

最後に、一般財団法人横浜市安全教育振興会のますますのご発展とご活躍を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。



阿久和小学校



和泉小学校

〈調査研究委託事業〉

姿勢を整えて健康になろう 「グー!ピタッ!ピン!でよい姿勢」の取組

横浜市立中山小学校

1 はじめに

日本では、昭和60年頃から体力・運動能力の低下傾向が続いています。その原因として、生活が便利になるなどの子どもの生活全体の変化、スポーツや外遊びに不可欠な要素(時間・空間・仲間)の減少などがあげられます。特に近年は、ゲームやパソコン、スマホの使用や塾通いなど子どもを取り巻く環境が体力・運動能力低下の原因だけでなく、子どもの肩こりや姿勢の崩れ等の問題になっていることも現代の子どもの健康課題であると考えます。

2 学校の現状

姿勢の面から子どもたちの様子を見てみると、気になる実態があります。座っているときに腰を前にずらして教科書を読んでいる、片肘によりかかるようにして話を聞いている、目を近づけて字を書いているなど、姿勢が崩れがちな子が見られます。

新体力テストの結果をみると、体力の低下がうかがえる実態があります。体幹を中心とした筋力の弱さが姿勢の崩れに影響していることも考えられます。

これらの実態を踏まえ本校では、児童の体力向上を目指して、中休みを30分確保したり、縄跳び集会を計画的に取り入れたり、体育学習で運動量の確保に努めたりしています。

そして何よりも大事なことは、児童自身が姿勢に対して問題意識を持つことであると考えます。その上で姿勢が崩れる原因を探り、よい姿勢にはどんな効用があるのか考えたり、野外での遊びや運動が筋肉を鍛え、よい姿勢の保持につながるなどに気づいたりしていくことが大切であると考えました。そこで、学校保健委員会で姿勢をテーマに取り組むことにしました。

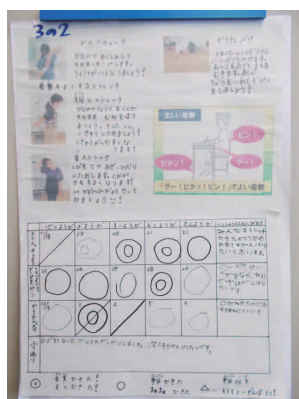
3 学校保健委員会での取組



学校保健委員会で「姿勢」について取り組んで2年目となります。平成30年度は「グー!ピタッ!ピン!でよい姿勢」をテーマに活動しました。第1回目は、姿勢が崩れると体にどのような影響を与えるか、頭に見立てたペットボトルの人形を用いて、頭の重さを体感し背骨の働きや背中中の筋肉をきたえることの大切さを伝えました。参加した児童は、頭の重さを実感し、興味を持って話し合いに参加することができていました。話し合いの中で、授業の号令の時にかけ声をかけるといった意見が出され、「グー!ピタッ!ピン!」を合言葉により姿勢を全校に広める活動を行いました。また、よい姿勢の習慣化のために、児童保健委員会が「グー!ピタッ!ピン!」週間を年3回設けて、全校で実施しました。1回目と2回目はクラス全体でチェックをしていましたが、あまり改善が見られなかったため、3回目は少人数(生活班)で見合う取組を試みました。班の友達が声掛けをするなどして、1・2回目と比べると姿勢を意識して過ごすことができた人が多くいました。第2回目の学校保健委員会では、3回実施した「グー!ピタッ!ピン!」週間の結果や普段から背中中の筋肉をきたえることの大切さを伝え、児童保健委員が調べてきた、体のかたさチェックやおすすめのストレッチを紹介し、参加者全員で行いました。話し合い活動で

も、クラスでストレッチを取り組みたいとの意見が多く聞かれました。

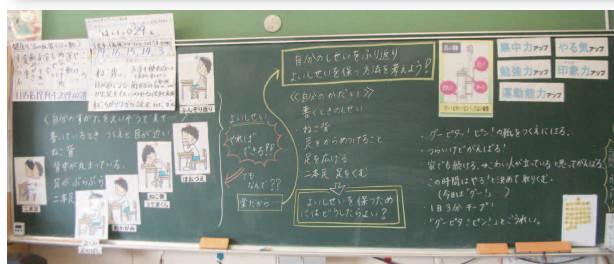
令和元年度は、「ゲー!ピタッ!ピン!」週間のときは意識してできたが、それが終わると続かないことやストレッチを広めたいという児童保健委員の意見があり、「ゲー!ピタッ!ピン!でステップアップ!」というテーマで2年目を迎えました。第1回目は、よい姿勢を習慣づけるための取組に重点をおき、姿勢がよいとどんなよいことがあるか伝えると共に、姿勢が崩れる原因を探り、運動やストレッチ、「ゲー!ピタッ!ピン!」の継続が筋肉をきたえ、よい姿勢の保持につながることを伝えました。児童保健委員が調べてきたおすすめの①体(肩周り)のかたさチェック(背中握手)②ストレッチ(首のびのびストレッチ♪、胸を開いて背すじピン!)③運動(雑巾がけで筋力アップ)をみんなで実践し、良さを実感しました。全校では、ストレッチ、「ゲー!ピタッ!ピン!」、雑巾がけを週替わりで1週間ずつ1か月間、各クラスで取り組みました。その後、児童保健委員会が、結果をまとめ、各クラスそれぞれに賞状を作成し、完璧にできていたクラスを朝会で紹介し表彰しました。



学校保健委員会には、毎年学校内科医と学校歯科医が参加していただきます。それぞれのお立場で専門的な知識やご経験からわかりやすくお話をくださり、参加した児童はもちろん、教職員や保護者も勉強になる会になっています。

4 4年生保健教育

特別活動で「自分の姿勢をふり返り、よい姿勢を保つための方法を考えよう!」の学習課題のもと、姿勢の授業を4年生で行いました。自分事としてとらえられるように事前活動で保護者からアンケートを取ったり、普段の授業の様子を動画で撮影したり、隣同士で姿勢をチェックし合う等を行いました。その結果、自分の姿勢に課題意識をもって授業に臨むことができていました。学校保健委員会でも取り組んでいる「ゲー!ピタッ!ピン!」で正しい姿勢を確認してから、よい姿勢を保つためにはどうしたらよいか話し合いました。子どもたちからは、「よい姿勢を意識する」「この時間はやる!と決める」「つらいけど我慢する」「1日3分キープする」「お家でも続ける。見てくれている人がいると思うとできる。」「ゲー!ピタッ!ピン!の号令をしてから始める」など



の意見がでました。養護教諭から姿勢が良いとどんな良いことがあるかの話聞いた後、自分のめあてを決めて、1週間取り組みました。取組後、児童からは、「猫背になったときもあったけど注意した。」「食事の時、姿勢があまりできていなかったで、これからも良い姿勢を続けたいです。」「これからも良い姿勢を保ちたいです。」などの感想がありました。保護者からのコメントの欄にも励ましの言葉が多く書かれていて、家庭でも姿勢を意識するきっかけになったのではないかと思います。

5 まとめと今後の課題

健康は、すべての人にとって生涯を通して大事なテーマとなります。小学校の段階から様々な健康課題について関心をもつことは大切であり、知識を深め、健康に良い習慣を身に付けてほしいと願います。

学校保健委員会の良さは、健康に関するテーマを絞り、児童の主体性を生かして、全校児童を巻き込んで展開できることにあると思います。今回、「姿勢」をテーマに2年間継続して取り組んできたことにより、姿勢に対する児童の意識を高めることができました。

この成果を今後も持続させるためには、学校だけではなく、家庭の協力が必要となります。家庭に発信し、連携していくことが重要です。姿勢については、これから先子どもが成長し、大人になってからも課題となることと思います。学校での取組を続けると共に、家庭でも家族みんなで取り組めるように発信を続けていきたいと考えています。

〈調査研究委託事業〉

横浜市PTA連絡協議会研修会

世界は一つ ～国籍を乗り越えて～ スポーツを通じた国際交流

講演：宮澤ミシェル 氏



2019年12月11日、関内ホール大ホールに、元プロサッカー選手で現在は解説者や指導者として活躍されている宮澤ミシェル氏をお迎えし、ご自身の幼少時のいじめ体験や親子関係、国籍、スポーツの持つ力などについて、ご講演頂きました。舞台上はもちろん、舞台裏でも変わらぬ気さくなお人柄が充分伝わり、テンポの良いお話しに会場も笑いや涙に包まれ、温かい雰囲気の中、素晴らしい講演会となりました。

フランス人の父と日本人の母を持ち、ともすると画一的で排他的な要素を持ちがちな日本の社会で、見た目の違いから来るいじめに悩んだ経験のお話から始まりました。辛かった時の心の支えは、常に話に耳を傾けてくださったお母様だったそうです。子どもが困ったときに話を聞くだけでも力になれる、子どもの未来は小さな契機で大きく変化する、個々の個性にあった指導・対応、将来を見据えて親が真剣に向き合う事の大切さをお話してくださいました。例え上手い解決策が見つからなくても、子どもからのメッセージをきちんと受け取り、耳を傾けてくれる身近な存在の大切さ、親はそういう存在であるという事に今更ながら気付かされました。

子どもたちは成長の過程で様々な壁にあたることもあると思いますが、親はどんな時でも冷静に耳を傾けられる存在であって欲しい、ありたいと思います。

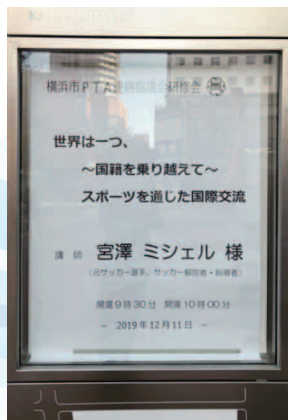
また、子どもたちには「聞いてあげる場所」の必要性を説かれましたが、それはもちろん、親ばかりではなく、学校・先生、或いは地域などあらゆる場所で見守り、育て、繋がっ

てゆくことであるのだと思います。子どもたちが夢中になって打ち込める事を見つけ、生き活きと笑顔に満たされ過ごせる、そんな日が来るまで支えになれる親であればと思います。

宮澤さんはサッカーにおいても国籍が壁になり辛い思いをされたということでした。国籍の壁や文化の違い、また周囲の無理解、そのような辛さからなのか、少年期の一時期、反抗的になりがちになったそうです。しかし、恩師との出会いにより一変したということです。スポーツは心の痛みや感動を分かち合える素晴らしいもの、だから、子どもたちには何か夢中になれる事を見つけに学校に行って欲しいという言葉が大変印象的でした。まさに講演の中にあつた「学校は宝箱」、自分にヒットするものを見つけに行く、最高の場所ということでしょう。今更ながらに気付かされた思いです。

また、スポーツに限ったことばかりではなく、学校での様々な刺激を通し、その中から将来、自分の役に立つような事を見つけられる機会に溢れた場所ということを示してくださいました。学校には何の為に行くの？、子どもたちがよく尋ねる問いですが、一つの解答と言えるのではないのでしょうか。

時に笑いも交じえて、楽しくお話ししてください、ともすると、重い話題になりがちな人権についてといったお話しばかりではなく、子育てのことなど、広く経験を通してのお話しを聞くことができ、多くの保護者の皆様にとって今まさに直面している子育ての悩みについて、示唆に富んだお話を聞くとても良い機会になったことと思います。



〈団体助成事業〉

ONE TEAM の心意気を 横浜市立小学校タグラグビー交流会

実行委員会 / 加藤 雅司(横浜市立下野庭小学校)

交流会の目的

今回で第17回を迎える「横浜市立タグラグビー交流会」。

横浜市教育委員会、横浜市ラグビー協会、そして横浜市安全教育振興会の後援を受けながら、継続して行われてきた交流会です。

交流会の在り方も、午前リーグ戦を行い、順位を決め、午後は同じ順位同士のトーナメント戦を行っていましたが、交流戦の意義と参加してくれる児童の増加に伴い、たくさんゲームを行えることを大切にしようという気運が高まり、現在に至っています。

このマスコットは、児童が交流会により積極的に関り、自分たちのものとしての参加意欲を高めていこうとする取り組みから生まれたものです。横浜スタジアムで行えることも児童にとっては楽しみの一つでもあります。



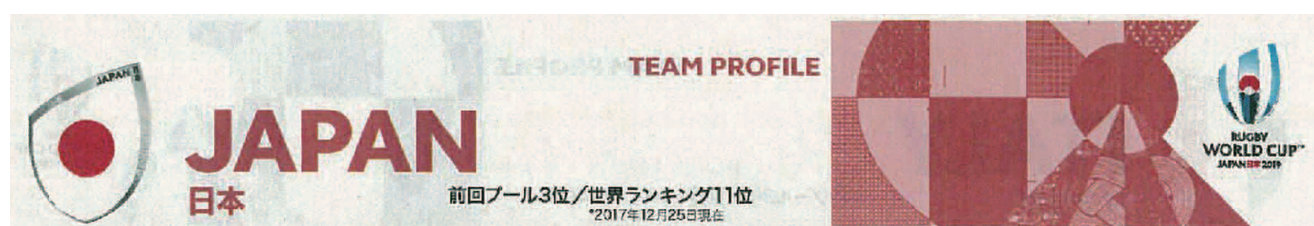
タグラグビーとは

2019ラグビーW杯で、ラグビーのルールにもなじみが出てきたように思います。もともとは、NZでのタスクゲームとして行われていたゲームです。タックルする代わりにタグをとる。5回タグを捕られたら攻守を交代するものです。もちろん、ボールを前に投げたり、落としたりしてもいいません。男女関係なく個人のスキルででき、話題にもなった、オフロードパスが随所に見られ、スピード感あるゲームが観ている人たちにも楽しめるゲームです。



第17回 交流会

- 令和2年2月8日
- 参加校：22校
- 参加児童数：約1030名
- 実行委員：60名



〈団体助成事業〉



はじめは…

横浜市では平成19年度から、学校・地域コーディネーターによる学校支援活動がスタートしました。各学校での活動に加え、「コーディネーター同士の交流、情報交換」を目的としてコーディネーターの有志で「横浜学校・地域コーディネーター連絡会」を立ち上げました。その活動の学び合いの中で、東京都庁で行われている「教育支援コーディネーター・フォーラム」を視察し、その様子や情報を共有したのが、平成24年12月の連絡会でした。翌年1月の連絡会で、「多様な教育支援活動を行っている企業やNPO等と連携し、企業等の教育支援プログラムの活用を紹介、交流する場の提供が、横浜でも実施できないか」と話し合い、実行委員会を立ち上げ、6か月後の平成25年6月8日に「第1回Yokohama 学校地域コーディネーター・フォーラム」を開催しました。「ONE TEAM」としてボランティアな活動だったからこそ実現したのだと思います。それから毎年、「子どもたちの豊かな学びのために…」を合言葉に試行錯誤をしながら回を重ねてきました。

学校支援活動から地域学校協働活動へ

学校・地域コーディネーターは地域学校協働活動推進員として、「学校支援活動の推進から地域学校協働活動の推進」と活動の幅を広げています。

そして、時代は平成から令和へ。これまで開催してきた「Yokohama 学校地域コーディネーター・フォーラム」を、「Yokohama 地域学校協働活動フォーラム」と変え、横浜市教育委員会の関係者と協議しながら念願の横浜市教育委員会共催という形で新たなスタートとして第7回を開催しました。



キャリア教育の必要性 ～生きる力～

産業や経済の分野における構造的変化の進行は著しく、雇用形態の多様化・流動化にも直結しています。学校から職業への移行プロセスに課題を抱える若者が増え、社会問題にもなっています。また、企業においても、経済のグローバル化が一層進み、国際競争が激化する中、我が国の競争力を維持・向上するために、より質の高い人材が求められるようになっていきます。こうした中、子供たちが自らのキャリアを描き、社会の急激な変化に柔軟に対応できる「社会人基礎力＝生きる力」のある人材育成・キャリア教育が必要となります。



数字でみる「第7回地域学校協働活動フォーラム」

- ◆参加者人数
542人(延べ)
- ◆出展者数
44団体



継続していくために

この「地域学校協働活動フォーラム」は参加者同士が互いに膝を突き合わせて、意見を出し合い、学び合う中で、地域の将来を担う人材の育成を図り、「地域学校協働活動」を推進するための先駆的活動の一つであると考えております。それぞれの立場の方々と年に一度の「子どもたちの未来を考える」よき機会となることを期待しています。



あたたかいご支援を賜りました「一般財団法人横浜市安全教育振興会」様に心よりお礼申し上げます。

〈安振会年間事業〉

第33回「健康と安全」ポスター展

展示期間：令和元年12月17日（火）～

令和元年12月22日（日）

展示会場：横浜情報文化センター

表彰式会場：横浜情報文化ホール

応募点数：447点

受賞作品：特別賞14点 入選16点 佳作16点

審査委員

横浜市立中学校美術研究会会長

長谷川 眞介 先生（横浜市立神奈川中学校長）

横浜市小学校図画工作教育研究会会長

江口 和良 先生（横浜市立美しが丘西小学校長）



令和元年度安全教室

日本赤十字社の指導員による 救急救命法教室

第1回	7月12日(金)	16名
第2回	9月 4日(水)	18名
第3回	9月27日(金)	22名
第4回	10月18日(金)	16名
第5回	11月15日(金)	16名
第6回	11月29日(金)	16名
第7回	1月17日(金)	15名

会場：（一財）横浜市安全教育振興会 事務局

時間：9：30～11：30

内容：心肺蘇生法、「AED」の取扱い、止血法 等



横浜市民防災センターの職員による 講習と体験ツアー

第1回	7月 2日(火)	28名
第2回	9月25日(水)	24名
第3回	10月17日(木)	20名
第4回	11月14日(木)	20名
第5回	1月10日(金)	13名

会場：横浜市民防災センター

時間：10：20～12：00

内容：防災講和、地震等災害体験、
減災トレーニング 等



役員コンプライアンス 研修会

7月18日（木）

会場：（一財）横浜市安全教育振興会 会議室

文科省の担当の方に指導していただきました。

令和元年度 加入状況

校 種	賛助会員数	世帯数
小 学 校	338	141,958
中 学 校	135	66,145
高 等 学 校	5	4,220
特別支援学校	12	1,469
総 計	490	213,792

(小学校には、横国大附属横浜小が含まれる)

令和元年度 評議員名簿

役職名	氏 名	備 考
評議員	相澤 順	横浜市立中学校長会 (総務・横浜市立上飯田中学校長)
評議員	石塚 慶和	横浜市PTA連絡協議会(書記)
評議員	大槻 繁美	学識経験者((公財)よこはまユース 業務執行理事・事務局次長)
評議員	吉備 カヨ	学識経験者(元教育委員、(公財)横浜市 体育協会理事、認定NPO法人スペシャル オリンピックス日本・神奈川理事)
評議員	工藤 春治	学識経験者(横浜子ども会連絡協 議会会長)
評議員	小泉 力也	学識経験者(神奈川県立高等学校安 振会評議員)
評議員	齊藤 達也	横浜市教育委員会代表(総務課長)
評議員	橋本 静江	横浜市PTA連絡協議会(副会長)

令和元年度役員・審査委員名簿

役職名	氏名	備考	
理 事 長	横田 竜一	学識経験者	○
副理事長	豊田 則夫	学識経験者	○
副理事長	竹本 靖代	学識経験者	○
専務理事	山元 泰弘	(一財) 横浜市安全教育振興会事務局長	○
常務理事	森田 真	学識経験者	○
理 事	鈴木 秀高	学識経験者	
理 事	生田 麻実	学識経験者	
理 事	山下久美子	学識経験者	
理 事	海上 良太	学識経験者	
理 事	樋口眞砂子	学識経験者	
理 事	栗原 聰	学識経験者	
理 事	永野 美雄	横浜市立小学校長会(副会長)	○
理 事	金澤 眞澄	横浜市立中学校長会(副会長)	○
理 事	佐塚 丈彦	横浜市立特別支援学校長会(理事)	
理 事	秋好 直樹	横浜市PTA連絡協議会(会長)	○
理 事	飯塚 昇	横浜市PTA連絡協議会(副会長)	○
理 事	七海 雷児	横浜市PTA連絡協議会(副会長)	
監 事	柳澤 潤	横浜市立小学校長会(副会長)	
監 事	青木 潤	横浜市PTA連絡協議会(書記)	

○印は審査委員兼務

審査委員	紺野 勉	横浜市医師会推薦	
審査委員	山崎 具基	横浜市医師会推薦	
審査委員	神保 裕紀	横浜市歯科医師会推薦	

令和元年度 上期 供花料等給付一覧表

(平成31年 4 月 1 日～令和元年 9 月24日)(単位 円)

給付別種・事由		対 象	給付件数	給付額
供花料等	(1)児童生徒供花料	児 童	3	90,000
		生 徒	2	60,000
	(2)保護者供花料	小学校	27	810,000
		中学校	26	780,000
		高校・特別支援	5	150,000
	(3)教職員供花料		0	0
	(4)証明書代等		23	40,580
合 計			86	1,930,580

費 目		件 数	金 額
手数料等	(1)振込手数料	83	39,312
	(2)その他の手数料	0	0
合 計		83	39,312
支 払 総 額			1,969,892

令和元年度 上期 共済 見舞金等給付一覧表

(平成31年 4 月 1 日～令和元年 9 月24日)(単位 円)

給付別種・事由		対 象	給付件数	給付額
1 児童生徒事故見舞金	(1)傷害事故	児 童	910	11,552,542
		生 徒	82	1,252,404
	(2)障 害	児 童	0	0
		生 徒	0	0
	(3)交通事故	児 童	25	77,360
		生 徒	2	6,000
小 計			1,019	12,888,306
2 児童生徒弔慰金	(1)学校管理下外事故死	児 童	0	0
		生 徒	0	0
	(2)交通事故	児 童	0	0
		生 徒	0	0
	(3)登下校中の交通事故死	児 童	0	0
		生 徒	0	0
小 計			0	0
3 PTA主催共催事故見舞金	(1) 傷害事故		9	284,420
	(2) 障害		0	0
	(3) 交通事故		0	0
	(4) 事故死		0	0
	(5) 往復途次の交通事故死		0	0
	(6) 病死等		0	0
	小 計		9	284,420
4 学校特別見舞金 学校協力者金	(1) 特別負傷見舞金		0	0
	(2) 特別交通事故見舞金		0	0
	(3) 死亡弔慰金		0	0
	小 計		0	0
合 計			1,028	13,172,726

費 目		件 数	金 額
手数料等	(1)振込手数料	815	274,320
	(2)その他手数料	2	864
合 計		817	275,184
支 払 総 額			13,447,910

安全教育推進団体に対する助成

(令和2年1月現在)

申請のあった単位PTAに対する助成 1校4万円(上限) 352校	13,830,422
区・部会PTA講演会研修会等助成	3,647,260
横浜市PTA連絡協議会事業助成	3,000,000
横浜市立小学校長会「専門研究事業」	300,000
第36回横浜港カッターレース	100,000
第68回関東聾学校陸上競技大会	200,000
第17回学校給食展示会	200,000
第24回野島クリスマスキャンプ2019	200,000
第17回横浜市立小学校タグラグビー交流会	150,000
(一社)横浜勤労青少年福祉協会「夏休みお楽しみ教室」	100,000
横浜市立中学校長会指導部・研修部	300,000
(一社)横浜すばいす「プログラミング教育」「横浜の子どもが作る弁当コンクール」	300,000
横浜市健民少年団「夏期宿泊訓練会」	100,000
よこはま学校食育財団「食育推進事業親子料理教室」	60,000
2019青葉区小中高生ミュージカル	100,000
第7回yokohama地域学校協働活動フォーラム	30,000
横浜市立特別支援学校長会「専門研究事業」	300,000
第4回未来へつなぐつつきゆめ駅伝	300,000
横浜市立小学校オリ・パラススポーツフェスティバル	300,000
ピンクシャツデー 2020in神奈川	100,000

令和元年度 区部会講演会研修会一覧

区名	開催日	事業名	会場	講師
鶴見	12/ 7(土)	講演会①「発達障害の世界～支援者から見た世界と当事者の世界から語れること～」 ②親と子どものより良いコミュニケーションの仕方が身につく交流会	鶴見公会堂	難波 寿和 宮澤 奈美江
神奈川	11/30(土)	親子で楽しく！アイススケート体験	横浜銀行アイスアリーナ	
西	2/28(金)	講演会「おとなの知らないネット世界～今、私たちができることとは～」	西公会堂	石川 結貴
中	6/18(火)	スポーツ文化交流会「護身術」	本町小学校体育館	伊勢佐木警察署生活安全課警察官
	1/14(火)	講演会「古地図と浮世絵に見る幕末・明治の横浜」	開港記念会館	西川 武臣
南	2/ 8(土)	講演会「とがっていても でこぼこでも かまわない。 今と未来の子育ての話」	南公会堂	岩波 直樹
港南	令和元年度	総会・委員交流会・役員交流会・役員会及び会長会	港南区総合庁舎他	
保土ヶ谷	11/27(水)	講演会「やる気を引き出す魔法の言葉」	保土ヶ谷公会堂	綿貫 美也子
旭	9/14(土)	講演会「小笠原家及び礼法の歴史、教育とのかかわり」	旭公会堂	小笠原 清基
磯子	1/24(金)	講演会「こどもたちといっしょ～体操のお兄さんが語る子供たちとの話～」	磯子公会堂	小林 よしひさ
金沢	11/20(水)	講演会「子どもを支える周囲の大人や社会の在り方～将来に希望が 持てるように～」	関東学院大学	土谷 みち子
港北	11/27(水)	講演会「夢の実現～挑戦することの大切さ～」	港北公会堂	古賀 稔彦
緑	1/17(金)	講演会「みんなで作る、みんなの学校」	みどりアートパーク	木村 泰子
青葉	11/21(木)	講演会「これからの時代の子育て～学力を超える大切な力とは～」	青葉公会堂	高濱 正伸
都筑	1/17(金)	講演会「“イイ子”より“幸せな子ども”を育むために～自尊感情を守る 心の“Home”とは～」	都筑公会堂	北村 年子
戸塚	12/13(金)	講演会「思春期の子育て勉強会」	戸塚公会堂	道山 ケイ
栄	12/17(火)	講演会「子どもも大人も幸せな人生を送るために～知っておきたい 5つの法則～」	栄公会堂	木下 晴弘
泉	1/25(土)	講演会「金澤泰子氏講演会」 揮毫 金澤翔子氏	泉区文化センター テアトルフォンテ	金澤 泰子 金澤 翔子
瀬谷	11/26(火)	映画上映「バベルの学校」	瀬谷公会堂	
高校	10/25(金)	講演会「日常生活にある美と健康のヒント～運動よりも効果的な方法 教えます～」	かながわアートホール	渡辺 和久
特別支援	1/21(火)	講演会「共に働き、共に生きる～働く喜びと幸せを感じられる社会の実現～」	あーすぶらざ	佐藤 光浩

令和元年度 修学奨励金の給付

小 学 校	192人	30,000	5,760,000
中 学 校	86人	40,000	3,440,000
高 等 学 校	10人	60,000	600,000
特別支援学校	24人	40,000	960,000
計	312人		10,760,000

令和元年度 賠償事故状況概要 (12月末日現在)

総数	校内	校外	対人	対物			
				自動車	ガラス	メガネ	その他
26	6	20	9	4	3	0	10
ガラス破損の内訳				自動車破損の原因			
校内 1件		校外 2件		自転車	ボール	石	その他
小学校	中学校	小学校	中学校	4件	0件	0件	0件
0件	1件	2件	0件				

※高等学校及び特別支援学校はなし

自転車事故の内訳		
対車	対人	その他
4件	4件	0件

安全教育団体に対する助成

各団体における活動の一コマ

横浜市PTA連絡協議会

横浜市PTA創立70周年記念

第36回よこはまファミリー写生大会

実施日 ▶ 平成31年4月21日(日)

展覧会 ▶ 令和元年6月7日(金)～6月10日(月)

表彰式 ▶ 令和元年6月9日(日)

場 所 ▶ 新横浜公園(写生大会) 横浜市民ギャラリー(展覧会)
横浜市教育会館ホール(表彰式)

参加者 ▶ 12,000名



昨年に引き続き、新横浜公園を会場に開催いたしました。また、今回はく横浜市PTA創立70周年記念>事業としての大会となり、多くの参加者が朝早くから新横浜公園にいらっしゃいました。ラグビーワールドカップ、オリンピック・パラリンピックの会場となる巨大な日産スタジアムや、花壇を彩る色とりどりの草花など、心温まる作品が完成していました。笑顔溢れる楽しい一日を過ごされたことと思います。また、この会の運営には各区部より大勢の保護者の方のお手伝いをいただいております。保護者の皆さま、各関係諸機関の皆さまに支えられて運営できる大切な事業を、更に継続していけるよう取り組んで参ります。

区・部講演会・研修会助成

港北区PTA連絡協議会

事業名 ▶ 夢の実現～挑戦することの大切さ～

講 師 ▶ 古賀稔彦氏

実施日 ▶ 令和元年11月27日(水)



バルセロナ五輪金メダリスト、柔道家の古賀稔彦さんをお招きし、ご講演いただきました。壇上の最前列から客席に問いかけ、笑いを誘う古賀さんのお話に会場全体が引き込まれました。

ご自身の経験から挑戦する側とそれを見守る側の双方の目線でお話しいただき、挑戦する前に諦めない、決めつけないことや努力することの強さ、当たり前のことをする大切さ、周囲の方への感謝・恩返しなど人として正しい生き方を学ぶ時間となりました。

単P事業助成

横浜市立南神大寺小学校

事業名 ▶ ふれあいイベント(折り紙ヒコーキを飛ばそう!!!)

実施日 ▶ 令和元年9月21日(土)



折り紙ヒコーキ協会認定の指導資格を持ったJALグループ社員の方々に講師をお願いし、JAL主催 空育®折り紙ヒコーキイベントを行いました。

子どもの部、大人の部に分けて、完成した折り紙ヒコーキを使い、遠くまで飛ばす競争ではとても盛り上がりました! 上位3名を表彰し、景品を用意し、一位にはとても大きな折り紙ヒコーキを渡しました。

子ども、保護者、先生、講師の方々と楽しい時間を過ごす事ができ、とても良いイベントになりました。

単P事業助成

横浜市立上永谷中学校

事業名 ▶ 平戸永谷川クリーンアップ

実施日 ▶ 平成31年5月25日(土) 令和元年10月26日(土)



上永谷中学校では、地域の方々やPTAと協力して平戸永谷川付近の環境美化活動に取り組んでいます。活動は春と秋の年2回行われ、活動内容は、河川敷の雑草やごみ等の除去、花壇の整備に取り組んでいます。特に花壇づくりは本校美術部の生徒が中心となって花壇のレイアウトを考えました。今年度も地域と学校が一体となって環境美化に取り組みました。